

年 組 名前:

【 記事<sup>きじ</sup>を先生<sup>せんせい</sup>や家族<sup>かぞく</sup>に  
読<sup>よ</sup>んでもらうか、  
自分<sup>じぶん</sup>で読<sup>よ</sup>んだ後<sup>あと</sup>に、  
答<sup>こた</sup>えてください 】

問1

富士<sup>ふじ</sup>河口<sup>かわぐち</sup>湖<sup>こ</sup>町の西湖<sup>さいこ</sup>で昨年<sup>さくねん</sup>11月<sup>がつ</sup>に  
釣<sup>つ</sup>り上げられた、国内<sup>こくない</sup>最大<sup>さいだい</sup>級<sup>きゅう</sup>とみられる  
クニマス<sup>くにます</sup>の、体<sup>たい</sup>長<sup>ちやう</sup>を答<sup>こた</sup>えてください。

.....

問2

クニマス<sup>くにます</sup>展<sup>てん</sup>示<sup>じ</sup>館<sup>かん</sup>では、  
ど<sup>ど</sup>のよう<sup>よう</sup>な容<sup>よう</sup>器<sup>き</sup>に<sup>に</sup>い<sup>い</sup>れ<sup>れ</sup>て  
展<sup>てん</sup>示<sup>じ</sup>して<sup>して</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>か。

.....

問3

西湖<sup>さいこ</sup>のクニマス<sup>くにます</sup>は、ど<sup>ど</sup>のよう<sup>よう</sup>に<sup>に</sup>言<sup>い</sup>わ<sup>わ</sup>れ<sup>れ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>す</sup>か。

.....



公開が始まった体長45センチのクニマスの標本（右）  
＝富士河口湖町西湖

# 西湖に最大級の魚体

富士河口湖町の西湖で昨年11月に釣り上げられた体長約45センチの魚が、国内最大級とみられるクニマスであることが分かった。西湖漁協（三浦久組合長）は標本にし、「クニマス展示館」で公開を始めた。漁協によると、西湖を訪れた愛好家が釣り上げ「大きなクニマスではないか」と漁協に連絡。漁協が県水産技術センターに鑑定を依頼、オスのクニマスと分かった。クニマスの体長は通常20〜30センチ程度。これまで同館で展示していた36センチのクニマスより約10センチ大きい。特注の直径21センチの容器に入れて展示している。三浦組合長は「40センチを超えるクニマスと聞いた時、とても驚いた。展示の目玉の一つになればいい」と話した。クニマスはかつて田沢湖のみに生息し1940年ごろ絶滅したと考えられていたが、西湖で2010年に発見された「奇跡の魚」とも言われる。

〈武田寛明〉

(2025年2月2日付 山梨日日新聞1面)